



各 位



JASDAQ

平成 26 年 2 月 13 日

会 社 名 ルーデン・ホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 西岡 孝
 (JASDAQ・コード1400)
 問合せ先 取締役管理部門管掌兼管理本部長
 佐々木 悟
 電 話 03-5332-5374

業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

平成 25 年 11 月 13 日に公表いたしました平成 25 年 12 月期 (平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日) の連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 平成 25 年 12 月期通期連結業績予想値との差異 (平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日)

	連 結 売 上 高	連 結 営 業 利 益	連 結 経 常 利 益	連 結 当 期 純 利 益	1 株 当 たり 連 結 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,155	147	145	107	1,094. 53
実 績 値 (B)	2,904	111	110	259	2,653. 58
増 減 額 (B - A)	749	△36	△35	152	—
増 減 率 (%)	34.8	△24.5	△24.1	142.4	—
(参考) 前期連結実績 (平成 24 年 12 月期)	2,558	177	145	△77	△874. 87

2. 差異の理由

売上高におきまして、ハウスクエア事業では、密接に関連する新築マンション市場が比較的順調に推移したことや、マンションディベロッパー及び管理会社との取引関係のさらなる強化及び新規法人開拓の強化に注力したことなどにより、順調に推移いたしました。また、リフォーム部門において新規現地獲得が想定を下回りました。また、ビル総合管理事業に関しましては、前連結会計年度に引き続き、営業体制の強化及び更なる顧客満足度の向上を図り、受注が比較的順調に推移しましたが、総合不動産事業において、販売用土地の売却がずれ込んだものの、一棟のマンションの売却が成立したこと等から、上記のように差異が生じました。

また、営業利益及び経常利益におきましては、管理部門において、外注費等の見直しを継続して続ける事等で経費の削減を図りましたが、総合不動産事業の一棟のマンションの売却において、利益を上げることが出来なかった事や、販売用土地の売却が、ずれ込んだこと等により上記のように差異が生じることとなりました。

そして、当期純利益においては、総合不動産事業において、平成 25 年 12 月 25 日にお知らせした「連結子会社における特別利益のお知らせ」のとおり、1 億 8980 万円を違約金損失引当金戻入として特別利益に計上したため、上記のように差異が生じました。

以上